

【勝浦町】生名集落

◆いくなしゅうらく



活動を通して人と人をつなぎ、地域と地域のコミュニケーションを深め
ふるさと生名(いくな)を元気にするために活動中

勝浦川へ流れ込む生名谷川沿いに、満開の桜が約2kmに渡り並ぶ。

この県内随一の桜の名所「生名ロマン街道」は、約30年前の生名川改修工事の記念として、勝浦町生名地区の老人会等の方々により「子々孫々のために」との想いで植えられた約250本もの桜の苗木が、歳月をかけて成長して出来上がった。

地域活性化のために結成された住民団体「生名ロマンの会」の手により、地区に古くからある大銀杏や桜に「ぼんぼり(提灯)」やLEDによる飾り付けが行われ、この交流空間で春に開催される「勝浦さくら祭り」は今年で20回目を迎える。毎年、生名谷川沿いに地元住民らが多数集い、ムード満点の夜桜を目当てに遅くまでにぎわっている。

同会は、平成29年に台湾クルーズ船「マジェスティック・プリンセス」が小松島港に寄港した際、町が設置した協議会の一員としてツアーバスの乗客約2,000人の受け入れに尽力し、日本の桜・花見文化の架け橋となった。これを契機として訪日観光客誘致に力を入れており、令和元年には香港旅行社の周年記念祝賀会に招待を受けるなど、国外においても高い評価を受けている。

人が集い交流する「ロマン街道」を出会いの場として、勝浦町で開催されるイベント「よってネ市」や「ビッグひな祭り」とも連携しながら、訪れた人々と地域住民の交流を促し、地域コミュニティを大切にしながら、桜並木や大銀杏の維持活動に努め、生名地区の魅力を町内外に発信している。



(写真上・生名ロマン街道)およそ2kmの並木道にはソメイヨシノやシダレザクラなどが植わっており、県内では珍しい桜街道が楽しめる。また、「阿波勝浦さくらまつり」開催期間中は、並木道の間を流れる谷川で舟下りをしており、船に乗って下から眺める桜は圧巻。

(写真下・生名ロマンの会の方々)植栽された桜の苗木の育成管理に努めながら、生成区民同士の絆づくりを推進すべく立ち上がった地元有志らにより平成15年に結成。

生名ロマンの会

- 代表／戸川 幹雄 ●連絡先／090-8970-6728
- HP／<http://awa-sakura.jp/>
- Facebook／<https://www.facebook.com/ikunaroman/>

